



KSKS

# 花の会ニュース

2016年3月号  
no.169

編集人/ 社会福祉法人 花の会 広報委員会 連絡先/ 〒569-1042 高槻市南平台 3-29-9

TEL 072-692-2859 FAX 072-693-3603

★WEB <http://www.hananokai.info/>

★E-mail [hana-net@minos.ocn.ne.jp](mailto:hana-net@minos.ocn.ne.jp)

## 第46回 花の会バザー ※小雨決行

### 5月22日(日) 9:30~14:00

共働舎花の会 南平台3丁目29-9 TEL 072-697-7033

遊びコーナー・イベント・模擬店・おもちゃ・雑貨 etc...

楽しい催し物をいっぱいご用意しています!是非、お越し下さい!

## 第33回 花の会総会・全体交流会

### 2016年6月19日(日)

総会 10:00~11:30 交流会 11:45~14:00

高槻現代劇場文化ホール3F レセプションルーム

職員はヒラソウにするな!

月日は直ぐに経つ。前回、1月に「障ハラ」を書いたのに、次のテーマを迫られている。

職員について褒めるのは難しいのだが、「悪口」はいっぱい出てくる。皆さんもそうでしょうが、みんな腹に納めていることと想像する。でも、職場の雰囲気・環境は悪くない。

お互いが、どのように思っているのかを感じてはいるのだろうが、関係改を聞く機会は少ない。性に合わない人間が存在することは、本来的に本能に属するものと言う主張もあるようだが、ここでは、そのことを追求するつもりはない。

「障ハラ」では、「ご家族から地域や学校での辛かった経験が手紙で送られてきた。みんな、辛いんだな、と実感した。福祉の現場であっても「〇〇してあげたい」と履歴書に当然のように書かれている。それ自体を否定するものではないが、一歩間違えるとハラスメントにつながることを知っていただきたい。個人の意見ですが。

で、書きたかったのは「何を言っても、聞いてくれない」との訴えを聞くことが多いことだ。上司に対して、同僚に対して、「部下」に対して。「どうして通じないの?」と問い返すが「聞かないものは聞かないですよ」「どうしようもない」の答えが。昔では時代や世代論がもてはやされたが、今は「宇宙人」で納得しているみたいだ。自分は変わらないう加減があるのに、メンバーを「支援」すると言っているが「自分は自分」の姿勢を変えない状況と同じで、言葉では丁寧であろうが口汚い言葉であろうが、メンバーに発せられれば命令だよね。そんなときは「ヒラソウにするな」の一言を返してしまいたい。高槻にもピープルファーストが必要です。

(やまだのかし)

## 日中活動支援よりの報告 生活介護

### 生活介護

# ラベンダー開設報告

2月1日(指定日は1月1日)、花の会に新しい生活介護事業所が仲間入りしました。「ラベンダー」といい、定員は10名。現在、7名の方が利用されています。主な活動は、さをり織り、軽作業になっています。

場所は、高槻市大冠町3丁目。住宅街の中にあるので、ちょっと見つけにくいかもしれません…。

(近くには、「すまいる」さん、「きらきら」さんがあります)ラベンダーは花の会の他の生活介護事業所と少し違うところがあります。ラベンダーと同じ建物内に、「さくらクラブ」という、児童発達支援、放課後等デイサービスを行なう事業所がある事業所が併設されているのです。

現在、花の会の「生活介護」は、定員を超えている状態で、新しい事業展開をどうしていくのか検討していました。元々「さくらクラブ」は場所が広く(以前は保育園、デイサービス事業所)、そのスペースの活用方法を検討したことと結びつき、同じ建物内に児童と成人の施設が同居する形への模索となりました。第4共働舎の従たる事業所とすることは可能か、管理者・サービス管理責任者・児童発達支援管理者の設定はどうするのか、事務所や出入り

口の共有はできるのか…等、様々な疑問が出てきては、大阪府、高槻市、双方の担当者と相談、確認を繰り返しながら一つひとつ解決していきました。子どもたちには、意外(といえは何ですが)に、すんなりと、後からできたラベンダーを受け入れていただけたようです。ラベンダーのメンバーのみんなも、小さい子どもたちのお兄さん、お姉さんになったような気持ちなのかもしれません。仲良く、楽しく同居することができています。

花の会の生活介護事業は、現在150名を超えるまでになり、新たな事業展開を検討することが課題になっています。

花の会の新たな事業所、明るく、楽しい「ラベンダー」をよろしくお願いします。

(第4共働舎 平田昌史)

#### ラベンダー(生活介護)

住所：高槻市大冠町3-13-1

TEL&FAX：072-690-7110

定員：10名



# 2015年度 忘年会の報告

## 共働舎花の会

去る12月26日(土)、共働舎食堂にて一年の締めくくりとなる忘年会が行われました。全員で作業場の掃除のあと食堂に集まり、いよいよ忘年会の始まりです。調理員の皆さんが準備してくださったオードブルのランチと飲み物を片手に、全員で「乾杯！」ひとりずつ「〇〇の作業をがんばりました！」「来年も元気にがんばります！」などなど充実感あふれる表情で発表しました。そしてお楽しみへと移り、中道さんがヘルマンハーブで素敵な音色を披露してくださいました。次に中原・大西・城戸の新人ワーカー3名によるショータイム。可愛い服装と楽し

い「はにたんダンス」「妖怪たいそう」にメンバーも大いに盛り上がりました。最後はハズレなしピンゴ大会で楽しい時間を過ごしました。2016年が更に健康で素晴らしい年になるよう祈念して閉会しました。(共働舎 1E班 鹿子 恵美)



## 第2共働舎花の会

12月26日(土)楽しみにしていた忘年会が始まりました。今年は鍋からオードブルに変更しましたが、自分たちで決めたメニューだったので嬉しそうでした。出し物の時間になると、当日までにそれぞれが練習してきたもの(クイズや歌等)を発表しました。発表の最中は静かに見て、終わると拍手をしてと和やかな時間でした。また、音楽クラブが発表する機会があったことも良かったと思います。新人ワーカーの出し物では、メイクで誰だか分からなくなったワーカーを不思議そうに見ていたり、怖がって後ずさりする(笑)メンバーもいましたが、最後はメンバ

ーもワーカーも一緒になって踊って歌って楽しい時間を過ごすことが出来ました。

(第2共働舎D班 西村 博子)



## 第4共働舎花の会

12月26日(土)に大冠町3丁目の建物(現在のラベンダー)で忘年会を行いました。

たんぼぼ亭が、オードブル・おにぎり・おでんを作ってくれました。皆さん「おいしい」「おいしい」とここぞとばかりにお腹一杯食べていました。お腹が満たされた後はお待ち兼ねの出し物です。毎年恒例こすもすの大塚さんのマジックショー。今回は紐を使ったマジックで一同をあっと驚かせていました。

出し物が終わった後はパフェ作りを行いました。アイスやフルーツなど色々な具材を用意して、メンバーが好きなようにトッピングしました。一色で統一したパフェを作るメンバー、彩りを考えバランスよく盛り付けるメンバーなど、オリジナリティー溢れるパフェが出来上がりました。

忘年会を行うのが初めての場所で、少しドタバタする事がありましたが、メンバーから「楽しかった」の声が聞こえて無事1年を締めくくることが出来ました!! (第4共働舎 南曲貴文)





## もちつきをしました!

1月9日、共働舎、第2共働舎、第4共働舎のメンバーみんな集まって、共働舎作業場前で「もちつき」を行ないました。

10年程前には毎年もちつきをしていたので、ベテランメンバーは自信満々の笑顔で、もちをつく姿もパッチリ決まっていた。新人メンバーは「何が始まるんやろう?」というような顔で、杵を振り下ろす手になかなか力が入らず……。お手伝いに来てくれた運転手の皆さんにフォローしてもらいながら、お餅がつきあがりました。

お餅をつき終わると、いよいよ丸め作業です。メンバーの熱い視線(?)を感じながら、今度は栄養士の2人がお餅を手際よく次々に丸め、きな粉餅に。給食を食べた後にも関わらず、みんな嬉しそうに次々とおもちをほおばっていました。いろいろな職員の協力を得て実現した久しぶりのもちつきでしたが、メンバーの満足な顔を見ると疲れも吹っ飛びました。

(共働舎花の会 川上登)



## 高校生がつくるふれあい冬祭り



1月9日(土)、福祉センターで「第15回高校生がつくるふれあい冬祭り」が開催されました。名称の通り、高校生を中心としたお祭りで会場は多くの高校生で賑わっていて、1月の寒さを吹き飛ばす活気と若さ溢れるお祭りでした。私たちは、このお祭りで毎年、焼きそば(150食)を作り販売しながら地域の高校生とふれあい、若者に花の会のことを知ってもらって交流が深められればと思っています。(焼きそばを作るので必死で交流出来てないところもありますが(笑))今回、参加したメンバーは、接客をしたり、無料で配られていたぜんざいをもらったり、一人で高校生の中に入って休憩していたりと、1日いつもと違った体験が出来て楽しかったことでしょうか! 「来年も焼きそば食べに来てくださいね♪」

(ラベンダー 山口昌亮)



## 第2共働舎・第4共働舎

# 「街ガドコンサート」やりました!!

3月19日(土)、JR高槻駅横の「アクトドーム」で、ミュージカルフレンズの皆さんと街かどコンサートを行ないました。

メンバーもワーカーも、みんな楽しく、笑顔でコンサートに参加でき、最高に盛り上がり、楽しいステージになりました!

ご家族、関係者の皆さん、通りがかりに足を止めていただいた皆さんで、会場は立ち見の方で溢れ、通行の妨げになることを心配しなければならないほどでした。

テーマは「障害者差別解消法 4月実施記念 ～障害があっても、なくても みんなちがって、みんないっしょ～」

言葉だけでは、なかなか伝わりにくいことでも、実際に街にでて交流することで、メンバーのことを知ってもらう機会を作ることが大切なんだと、改め

て感じました。そしてみんなと一緒にした「手のひらを太陽に」。会場の方も一緒に歌い、手話をしたことで、何かを皆さんに感じてもらえたり、伝えることが出来たのかなと思いました。

(第4共働舎花の会 平田昌史)



## 地域生活支援よりの報告 グループホーム・ショートステイ

### 新ホーム紹介★

# 「ペがさす」「じゅぴたー」が開所しました

こんにちは、「フラワーホーム」です。

今年度も新しいグループホームが開所しましたので、お知らせいたします。今年度は、月なかばのちょっと中途半端な時期になりましたが、2月15日に18番目と19番目のグループホームとして「ペがさす」と「じゅぴたー」が開所しました。なかなかカッコいい名前だと思いませんか。

「ペがさす」は、芝生住宅でこれまで運営していた「すばる」の3箇所のうち「すばる3」の一室と、新たに利用することになった別棟の一室が合体する形でスタートしました。利用者もこれまで「すばる3」を利用していたメンバー2名と、新メンバーの2名です。また、これまで「すばる3」で行ってきた体験利用も「ペがさす」で行うことになりました。新メンバーである2名もこれまでに体験利用として、「すばる」でグループホームを経験していて、すでに顔なじみなので、新スタートというよりも再スタートのような感じです。早くも打ち解けた雰囲気、みなさん笑顔で楽しく過ごしています。

「ペがさす」は、「すばる」の一部が分離した形なので、世話人を含めいい感じで交流を持って運営しています。芝生住宅にはこれまで、「くるみ」「すばる」「おりひめ」を運営しており、これで男性ホーム2箇所、女性ホーム2箇所の合計4箇所になりました。ホーム間の距離も短くなり、気軽に行き来できそうで

す。生活の部分だけでなく、余暇活動や地域交流の場面でも、お互いに協力して楽しく活動していきたいと思っています。

「じゅぴたー」は、天川住宅に開所しました。こちらは、これまでの「ひこぼし」が移動し、そのあとに入る形で始まりました。こちらは男性3名の単独のホームで、いずれも新メンバーです。花の会では初めての3名のグループホームになります。いずれも体験利用でホームの生活は経験済みなので、スムーズに「じゅぴたー」の生活にも溶け込んでいます。小さなホームですが、お互い助け合っているいろいろな取り組みができたと思っています。天川住宅もこれで「あまかわ」「ひこぼし」「おりおん」に続く4番目のグループホームになりました。男性ホームばかりですが、近くに集まっているのでチームワークを取りながらまとまっていけたらと思います。

「フラワーホーム」は、これで高槻市内に19箇所のグループホームを運営することになり、定員も88名になりました。いろいろな場面で、地域の人たちと関わりを持ちながら楽しく生活しています。買い物やガイド、お祭りでお会いしましょう！これからもよろしくお願いします。

(ペがさす世話人 大塚修)



ペがさす



じゅぴたー



## フラワーホーム 各種研修報告

# EPOセミナーを受講して

前評判で「面白い」と聞いていた。決して面白いとは言えないテーマだったが、そこから何を導いていくのかに興味を持った。テーマは「虐待について」だ。

1回目『アクト・オブ・キリング』という映画上映。実際にあったギャングの市民虐殺を当事者が自ら出演したもの。「殺すということ」が映し出されている。気分が重く、主旨が掴めないまま、集団による破壊欲動を垣間見る。それは戦争の植民地での行いにも似ていた。

2回目は、記憶にまだ新しい下関での「知的障がい者虐待事件」について。「虐待を行わない」というブレキは、個人の文化度によるものではないか？という切り口からの話だった。暴力や虐待の力の方向は、強い方から弱い方に向いていく。対等の関係からは生まれにくい。人の心に本能的にある「破壊的欲動」

が「優位に立とうとする」事で助長される。世界から虐待を完全になくす事が不可能である理由だ。

しかし「欲動を抑える事」「しないように心を高めていく」=「カルチャー（教養・文化）」であり、「対等になろうとする文化力」を高めることは可能である。考えるスキル。「感じる・考える」という一呼吸（思い）が、虐待の芽を摘んでいける事に繋がっていく。

相手を生命ある人・これからも生きていく人と思えないようになっては、あまりにも悲しい。わが身を振り返り、対人援助職「人」であるなら尚の事、感じ取るスキルを養いたい。私はそう思った。

(フラワーホーム 西井嘉奈子)

(注)EPO:エンパワメントプランニング協会

## 新人研修報告

1月26日(月)「障がい者福祉センター」にてフラワーホーム新人職員研修を行いました。他施設を経験して花の会に入職された方や福祉に初めて携わる方、6名の新人の方が参加されました。研修の内容は、支援職員の基本マナー、各種支援制度、事務研修、法人理念とフラワーホーム理念、支援業務への理解、先輩世話人の体験談、新人職員の意見交換会・・・7つの項目に分けて、それぞれを所長、各エリア長、正職の方に講師を依頼して進めていきました。後半部分での先輩世話人の体験談では、2人の男女の先輩世話人の方が発表され、ホームでのメンバーとの関わりや今まで体験したこと、感じたこと等を率直な思いを語られ、新人職員の皆さんも聞き入っておられました。そして最後の意見交換会では、各自の強み弱み(悩み)や、まだ短い経験の中での、支援や業務等についての感想を発表するといった内容でした。メンバーとの関わりのお話では、メンバーが自分の名前を読んでくれるようになったとか、こんなことをしてくれた、こういうことが嬉しかった等和やかな雰囲気での話し合いの場となりました。朝10時から夕方5時までと長丁場な研修でしたが、皆さん最後まで集中して熱心に聞いたり質問したりと・・・取り組まれていたのが本当良かったと思います。講師をしていただき皆さん、新人職員の皆さんこの日は、本当にお疲れ様でした！！

(フラワーホーム 仲田 勝則)

## 正職員研修報告

2月2日にグループホーム正規職員を対象に研修を行いました。研修受講者は3名、講師はエリア責任者3名とアドバイザーとして吉崎所長が入り研修をすすめました。

研修の内容としては、グループホームに必要な正職員の業務の確認、チームワークの必要性、スタッフのエンパワメントについて講義とエリア責任者が今まで取り組んだ事例について、正規職員としてどう取り組むのかという事をディスカッションしました。

チームワークの必要性について、大塚副主任からまだグループホームが6ホームしかなかった頃、『大塚組』と言われる程世話人間の結束は強かったが、内々だけでやっている感じもあり、日中との連携が取れていなかったという話があり、受講した3名にとっては印象深い話になったようです。

研修受講者だけではなく、研修を行った側からしても、自分の業務を見直す良い機会になったように思います。(フラワーホーム 堂園 由起子)



## 友花会 ピープルファースト参加報告です!

1月23日ピープルファースト大阪 全体会議が東大阪のパンジーⅢで開催されました。友花会と日中メンバーも参加しました。

議題は・・・

「1、セミナーのふり返り 2、仕事や生活について 3、2月のポーリングについて」でした。班ごとに話し合いながら、時々笑いが聞こえたりして雰囲気も良く、結果をしっかりとメモして発表する姿を見られました。

『なぜ仕事をしていますか』と聞かれるとお金が欲しいからという意見や、生活の為に答える人が多かったです。「外の仕事は寒い」「朝早いから辛い」など仕事のしんどい面などの話も聞かれましたが「貯金できた」という嬉しい話もありました。

『目標はなんですか』の質問には、今の仕事を頑張りたいと言う人が多かったです。

参加したメンバーさんは、ピープルファーストでは、本音で話ができると言っていました。皆と話が出

来て楽しいから参加したくなるというメンバーもいて、顔見知りの人と挨拶をしているのを見ると、メンバー同士のコミュニケーションの場になっている事を強く感じました。これからも参加できる様に協力していきたいと思います。

(友花会支援者 植月安子)



## レスパイト

## 豆まき大会を開催!

寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。レスパイトは皆の元気な声が室内を温かくしてくれています。

先日は節分の豆まきをしました。鬼の格好をした職員に向かって「鬼はそと、福はうち」と元気よく豆まきを楽しみました。今回は節分豆の代わりに落花生を使用しました。落花生を初めて見る子がほとんどで、殻を割ったらピーナッツが出てくることを知

り驚いていました。恐る恐る口にして「おいしい」と分ると皆で殻むき大会が始まりました。(笑) 本来は節分豆を使用しますが、いつもの節分と違った経験ができたのではないかと思います。

今年度も残り2か月を切りました。1日1日を大切に、今月もおもいきり楽しく過ごしたいと思います。(短期入所事業部：池之上静香)



就労相談支援よりの報告 相談・就労移行・就労継続・居宅

就労支援

第20回働く障がい者の集い開催報告

さる2月6日(土)、ゆうあいセンターにて「第20回 働く障がい者の集い」を、高槻市障害児者団体連絡協議会と、就業・生活支援センターの共催で行いました。

当日は15:00から会場設営を行い、早めに来た参加者には、2階調理室から料理や飲料を運ぶことを手伝っていただきました。例年のように丸大食品株式会社様のご厚意で、たくさんの食品をご寄付いただき、100名を超える参加者みんなで美味しくいただくことができました。

今回は、第20回という節目ということもあり、これまでの集いの写真をスライドショーとして上映し、古くからの参加者は懐かしく感慨深い想いで鑑賞していました。

2月25日(木)に、今回の反省会を行い、次のような意見がありました。

・情報案内文の説明不足により、就職相談会と間違えて参加していた人がいたので、今後は、「働く障が

い者の集い」(交流会)としてわかりやすくする。

・予約なしの当日参加者が着席して料理を食べ、きちんと事前申し込みをされていて仕事の都合で遅れてきた人の食べ物が足りないという事態が起こるので、完全予約で500円以下のお弁当をたんぼぼ亭や喫茶たんぼぼに依頼することを検討する。

・これまで集いを支えてくださった各団体会員の方や関係者の負担が大きくなっており、今後は、当事者がお客さんではなく、当事者が作り上げる会というものに移行していくことが必要である。

・これまで当事者実行委員は少数だったが、今後は15名ほど選出して、今までの実行委員はバックアップという形にしていきたい。

以上のようなことから、今後は試行錯誤をしながら、当事者による開催をめざしていくこととなります。

(就業・生活支援センター 宮崎佳子)



『知的・発達障がいのある人たちの日常を考える』セミナー参加報告

1月19・26日『知的・発達障がいのある人たちの日常を考える』セミナーが開催されました。障がいのある子どもや家族、当事者又は子どもの成人後の生活で、様々な不安を抱えているケースが多くみられる為、障がい児の将来像を重点に置き、街づくりを啓発していく場を目的としています。当センターは、自立支援協議会の進路・就労ワーキングの取組みの一環で関わらせていただきました。

イベントの構成は2つで、障がいのある人々の仕事・生活を考える講演と作業体験や進路相談が出来る等、就労に関するコーナーです。当就業・生活支援センターは過去の就労状況、就労者の生活モデルの準備に携わりました。生活モデルでは、将来を身近に感じてもらう為、実際、当センターの登録者をモデル

にさせていただきました。

結果、幅広い職種と、どの年代の方も仕事をする事が出来る事を改めて感じました。

日頃のご本人の頑張り続ける粘り強さに接し、貴重な体験となりました。

イベントを通し、輝いている先輩の姿を見て未来への“希望”“勇気”を持って頂けたのではないかと思っています。ご本人には働く喜びと、会社には一緒に働く事が日常的な事と認識して頂けるような支援を目指したいと思います。チームでの活動でより他機関への親近感を抱き、地域の繋がりが深まる濃密な時間でした。

(就業・生活支援センター 田中保千代)

## 相談支援センタースキップ

# 「サービス等利用計画」の現状

障害者総合支援法への改正と同時期から、障がい福祉サービスを利用される方すべてを対象に作成が必要になった「サービス等利用計画」が導入されて、約4年が経過しました。全ての方に、とっていますが相談員が作成する計画のほかにセルフプランがあります。市によってセルフプランは1件も作っていないところとセルフばかりのところと、市町村によって考え方は様々です。

高槻市の現状としては相談員と人口比なども影響しており、18歳以上の方については2015年3月の時点で実際に福祉サービスを利用されている約1800人の方に対し、約4割の方が相談支援事業所の作成する計画を利用されています。これまでセルフプランをされていた方も、ご家族の体調の変化に伴ってご相談を受けることになった方や、ご

本人の希望に合わせてご相談を受けることになる場合や、変更されるケースもあります。

現在支援してくださっている方に十分ご理解いただいているという状態であれば現状のままでも問題ないと思います。18歳以上の相談を受けている相談支援事業所は、市から委託を受けているところが8か所で、計画の作成だけを行うところが2か所の計10事業所あります。しかし相談員はどの事業所も1~2名、多くて3名しか配置されておらず、厳しい体制の中での対応になっており、必要に応じて対応できるためには行政に伝えていかなくてはなりません。地域で暮らす方々が、少しでも元気に暮らし続けていくためのお手伝いができればと思っています。(スキップ 前川時恵)

## サポートセンターはいびすかす

# ガイドヘルパー養成研修開催!

### 養成研修

今年もガイドヘルパー養成研修(知的障がい課程)を2/23(火)~3/10(木)に開講しました。この研修は講義2日間・実習2日間の計4日間で「移動支援従業者(知的障がい課程)」の資格が取得できる研修になります。今年受講生の人数は例年に比べて少なく、6名の申し込みとなりました。実習では、共働舎・第2共働舎のメンバー、メンバーのご家族、ワーカーの皆さんにご協力いただきました。また夏頃にも知的障がい課程のガイドヘルパー養成研修を開講させていただく予定です。

### はいびすかす近況

事業所の近況ですが、ヘルパーさんが依然不足していて、新規契約を受けることはおろか、すで

に契約して頂いているご利用者さんの依頼にも、十分に應えることが難しくなっています。ガイドヘルパー養成研修を年に2回、開講しているのですが、登録まで結びつかないのが現状です。はいびすかすでは多くのご利用者さんの依頼にこたえられるように登録ヘルパー(ガイドヘルパー・居宅介護ヘルパー)を随時募集しています。

(時給1300円)介護福祉士もしくは知的障がい者の移動支援従業者資格、また介護職員初任者研修資格(旧ヘルパー2級資格)をお持ちの方でガイドヘルパーの仕事に興味がありましたら、是非「はいびすかす」までお問い合わせください。

今後も利用者さんの充実した余暇活動・社会参加を支援できるように微力ながら努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

(はいびすかす 澤田賢二)

## ガイドヘルパーさんを大募集!

詳しくは、サポートセンターはいびすかすまでご連絡下さい。

TEL 072-669-9519

# 第3共働舎 天神祭出店報告

2月25日・26日は、天神祭でした。今年もJR高槻駅前のロータリーで、第3共働舎花の会(主担ワークたんぽぽ)で出店しました。去年と同様「おからかりんとう販売」と「iPadくじ引き」で出店しました。実は、お恥ずかしい話ですが、一日目は、屋根なしテントで販売でした(^\_^)小さい屋根を持ってきてしまうというドジなハプニングもありましたが、2日間で、23万円ほどの売上がありました。夜は日中とレイアウトを変更して「くじ引き」をメインに配置し、iPadのアプリでガラガラをしました。これが大人から子どもまで大人気で、隣の店まではみ出してしまう勢いの列になってしまいました。当日は声かけ・お客さん対応・搬出入と、たくさんの作業をメンバーとワーカーが一丸となって達成感を得た有意義な取り組みでした。結果たくさんの方たちの協力、応援のもと、出店することができました。ありがとうございました。

上宮天満宮(天神さん)の境内で、高槻事業所連絡会が出店しました。出品事業所ワーカー有志でクッキー等の自主製品の販売を行いました。こちら也大盛況で25万円程売れました♪

(第3共働舎花の会 佐藤智昭)



## フォルツァ 卒業生の集い開催

フォルツァは就労移行支援が定員 20 名、自立訓練(生活訓練)が定員 12 名で運営しています。この原稿を書いているのは2月初旬ですが、現在の利用者は就労移行支援が11名、自立訓練(生活訓練)が4名と大変少なくなっています。

ちなみに2015年度の就職者数は就労移行支援から11名、自立訓練(生活訓練)から2名(うちA型事業所1名)と昨年を上回る13名の就労が実現しました。そのうち2名の方は残念ながら退職されていますが、1名の方はフォルツァを再利用されて再就職を決められました。

3月11日(金)の夕方には、定着支援の一環で就労された約50名の卒業生を対象に卒業生の集いを開催する予定です。昨年から実施して大変好評を得ています。フォルツァはメンバーの入れ替わりが多いのでお互い知らない方も多いのですが、同じ社会人として、仲良くなったり、愚痴を言い合ったり、長く働くコツを教えあったりなど、横のつながりを持って頂けたらと考えています。

ちなみに今回の集いの案内状のデザインはフォルツァの現メンバーに作成頂きました。

ーから素敵なイラストを作成して頂いたということで感謝です!

(フォルツァ 成瀬修)



## 法人からの報告

# 第10期目の法人運営に向けて

後2年で、法人設立20周年となります。法人としての期待される役割をどこまで達成できたのか不安がいっぱいです。事業の規模の拡大を評価いただくことがあります。経営の視点で考えることはほとんどありません。どちらかと言うと、儲からな

いことばかりして、と叱責されることの方が多いと思います。

ここでは、中期計画の報告と役員体制のご紹介をさせていただきますと思います。

## 「中期計画 2016」にご意見ください

前号で「中長期計画」の策定を行っていることを報告いたしました。

3月6日の評議員会、理事会において承認を得ましたが、多くの皆さんの目に留まっていないのも現実としてあり、どんどん見直しをかけながら、改訂を進めていきたいと思っております。

何処の法人も悩んでいることは人材です。本会も将来を背負って立つ(将来を託せる)人たちをどう「創って行くのか」が課題であり、問題意識です。そこから、託せる人は、単に頭が良い人、金銭に強い人、能力がある人ではなく、信頼できる人ということになります。その後の理由に何々が優れている、と言うことがあると思っております。メンバーのことを基本に考えられる人が必要だと考えています。

中期計画では、以下のことを提案しています。

### ■理念

『共に学び 共に働き 共に生きる』

分けない教育、労働、参加を考えていくこと、を基本として事業や活動を行うこととします。

### ■基本方針

『誰もが尊厳をもって、家族や地域の中で、障害の有無や程度、年齢に関わらず、その人らしく安心と活力のある生活が送れるよう、社会的障壁と闘い、真のエンパワメントとなる自立と社会参加を実現する』としています。少し長いですが大切とする考え方を圧縮しています。

### ■「ビジョン 2025」

「長期目標」を「ビジョン 2025」として、目指す人材作りを課題としています。

メンバーの自立と社会参加を実現する人材です。

『メンバー・家族・ワーカーが対等に集い、人、地域、社会、時代に必要とされる組織を目指して、新たなステップを展望する』ことで、更なる飛躍を図りたい。

### ■行動指針

ワーカーが活動する指針です。

『当事者性を大切にする』

『運動性を求める』

『開拓性を発揮する』

『社会モデルを推進する』

### ■中期計画 2016

以上の指標を基に3年間の中期計画を策定しました。その目標は、

- ① 住み慣れた地域で暮らし続けることができる支援の実現
- ② 先駆的で良質な支援の実現
- ③ 共に働ける環境の整備
- ④ 法人としての使命の追求
- ⑤ 法人の継続性と発展性の維持強化』を掲げ、課題を設定しています。

### ■部門の中期計画 2016

3事業部門での目標を掲げることとしました。

- ① 日中活動部門
- ② 地域生活部門
- ③ 就労・相談部門

において、法人の課題設定に対する目標を掲げています。

# 湯浅誠氏が やってきた！ ロボットに負けるな！

2月13日(土)花の会オープン学習会(法人全体研修)を開催しました。

今回の学習会の参加者は175名。かつて“年越し派遣村の村長”として活動され、内閣府参与をお務めになられた、社会活動家であり法政大学教授である湯浅誠さんをお迎えし、「地域での自立とは～つながりのなかで生きる～」というテーマでご講演いただきました。

講演では、日本の国立情報学研究所が中心となって2011年に立ち上げたプロジェクト、「ロボットは東大に入れるか(東ロボくん)」を事例として取り上げ、人工知能を持つロボットの研究・開発が、2021年度に東京大学の入学試験を突破することを目指していること紹介されました。このような、人工知能を持ったロボットの開発をはじめとした技術の発展により、近い将来、人が社会の中で働く環境が減っていくと説明されました。

湯浅さんは、その中でも、ソーシャルワーカーや介護士といった人と人とが関わりあう仕事は、ロボットや機械では対応できない仕事としてこれからも求められ、多くの需要があるとお話されました。ですが、単に制度やサービスを機械的に当てはめるよう



な支援では、東ロボくんでも出来てしまいます。私たちに、人間だからできる技があります。それは、「メデシン」。薬ではありませんよ。「相手が出来る動作を観察する目」「相手が動作しやすい環境を整え、介助する腕」「相手のやる気を引き出し、支える心」の「メデシン(目・腕・心)」この視点で支援していくことの大切さも話をされていました。あらためて自分の仕事は、この視点でできているか再確認できる機会となりました。

(第3共働舎花の会 佐藤智昭)

## 理事・監事・評議員・第三者委員の紹介

先の評議員会・理事会で第10期の役員等の体制が決まりました。

任期は、2016年3月11日～2018年3月10日

理事長	山田 義昭	評議員	平野 恵司	評議員	宮本 洋
常務理事	成瀬 修	評議員	江口 勝子	評議員	吉崎 篤史
理事(職務代理)	白石 朝子	評議員	林 正	評議員	山口 由美子
理事	有田 宜子	評議員	山名 利美	評議員	佐藤 智昭
理事	南出 満	評議員	山村 重徳	評議員	牛嶋 亮
理事	津田 茂樹	評議員	瀬古 美重	評議員	白石 朝子
監事	野田 忠司	評議員	阿部 陽子	評議員	成瀬 修
監事	上田 充孝	評議員	篠原 芽久美		
第三者委員	吉岡 和美		鶴野 隆浩		野田 忠司

### ■総務 担当役員

区分	役員	事務局
総務部	成瀬	牛嶋
人事部	白石	山口
人材開発部	有田	吉崎
財務部	南出	牛嶋
総合企画部	山田	佐藤
情報システム部	成瀬	平田
監査部	津田	徳野

# 日本財団助成事業完了のお知らせ

このたび日本財団から、平成27年度助成金の交付を受けて、下記の事業を完了致しました。

日本財団をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、

## 記

- 一、事業名：送迎車の整備
- 一、整備車両：ホンダ ステップワゴン
- 一、事業費総額：157万5000円
- 一、助成金額：126万円
- 一、施設名称：社会福祉法人花の会 第2共働舎花の会
- 一、施設所在地：高槻市南平台三丁目29-10
- 一、完了年月日：2016年3月8日



# 共同募金配分金で新しいエアコンを設置しました！

ワークたんぼぼでは、空調機2台を整備するため平成27年度共同募金配分金の申請をし、空調機を整備[更新]いたしました。

共同募金にご協力いただきました、府民(寄付者)の皆さまに心よりお礼申し上げます。大事に使用させていただきます。

## 記

- 一、事業名：空調機の整備(更新)
- 一、購入空調機：ダイキン 空調機2台(1台ツイン)
- 一、事業費総額：98万748円
- 一、配分金：87万4000円
- 一、施設名称：社会福祉法人花の会 ワークたんぼぼ
- 一、施設所在地：高槻市芥川町二丁目25-5
- 一、完了年月日：2016年1月29日



## 花の会からの報告 本人・家族・支援者・定例会

# 第152回 花の会定例会報告

3月13日(日)10:00~11:30、第152回花の会定例会が共働舎食堂で開催されました。今回は2015年度最終の定例会ということもあり、議案が多くなりました。恒例の各委員会、懇話会の報告に加え、日中活動からは次年度の事業計画、班構成と年間予定の発表、工賃設定(日給は700円据え置き、ボーナスカットの見込み)新メンバーの紹介がありました。新たに6名のメンバー(高槻支援学校より5名、摂津支援学校より1名)が花の会に参加することになります。一緒に花の会の活動を盛り上げていければと思います。

グループホームからは2月よりスタートした新ホーム“ペがさず”“じゅぴたー”の報告と宮田町のホーム建設計画の状況について、法人からは社会福祉法人花の会の中期計画ヒアリングと4月より施行される“障害者差別解消法”の概要と高槻での取り組み

み等の情勢が説明されています。

また、第7回花の会作品展の授賞式も同時に行われ、金賞・銀賞・銅賞・佳作に入選したメンバーへ上田代表より表彰状が手渡されています。当日に参加していたメンバーのみでしたが、皆さん少し照れながらも自分の作品が選ばれたことで自信に繋がったのではないのでしょうか。(作品展は4月15日【金】16日【土】アクトアモーレ大垣書店横通路で開催されます)

年4回開催される花の会定例会ですが、近年は出席数が減少している傾向にあります。普段は顔を合わせる機会が限られる会員同士の交流のきっかけになり、花の会の活動について共に考えていければと思います。出来るだけ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

(花の会事務長 牛嶋亮)

## 第7回 花の会作品展 開催日決定!

今回で7回目を迎える「花の会作品展」。今回は約80点以上の絵画、造形、手芸、陶芸、染物など、様々な芸術作品が寄せられました。

そして3月7日に作品展審査会を開催…厳選な審査の結果、金賞(1名)、銀賞(1名)、銅賞(2名)、佳作(11名)が決まりました。メンバーの皆さんが生み出す芸術作品を審査する難しさ…審査員の6名も大いに悩まされていました。受賞を逃した方も本当にステキな作品ばかり。出品いただいた方には参加賞をお渡しするのでお楽しみに・・・!

ここ数年 恒例になっているJR高槻アクトアモ

ーレ(通路)で作品展を開催することが決まりました!日程は4月15日(金)、16日(土)の2日間…春の暖かい日、買い物のついでにでも…ぜひお誘い合わせの上、お越しいただければと思います。もちろん、作品は全作品を展示いたします!また、自主製品の販売ブースも設けますので、よろしくお祈りします。(花の会 作品展担当:平田昌史)

**第7回 花の会作品展**  
**4月15日(金)・16日(土)**  
**JR高槻駅北側 アクトアモーレ内**





## 家族会 一年も振り返って・・・

一年を振り返ってと言うことですが、今年度は”初めて”が2つ・3つありまして、目まぐるしく過ぎ去ったので、随分昔のことのように感じます。

まず、川添まつりの初参加。初めての場所で不安もあり、いろんな方々にご協力いただき、全て完売と言う嬉しい結果でほっとしたことを憶えています。そして、陶芸体験では、私の思いつきにもかかわらず、ご指導を引き受けてくださった佐藤施設長には感謝です。

10名ほどの参加者でしたが、新しい会員の方も参加していただき、楽しく作品作りに取り組みました。そして、今年に入ってすぐに新しく入所される方々への説明会に参加させていただきました。家族会の取り組みや行事等をお話させて戴きました。こうして、毎年数名の方々が入所され花の会も本当に大人数となり、施設も大きくせざるを得ない状況になっ

ております。

バザーも大掛かりになり、売り上げも多くなっています。しかし、土曜、日曜日両日の手伝いの参加人数が集まらず、準備が大変になっているのも現実です。

家族会会員がお互いにもっとコミュニケーションをとれるといいかなと、イベントを考えてはみるもの・・・

そう言うことで、私自身が何かに取り組み結果を出せたかと言うと何もありません。そんな私ですが、いつも思っているのが“仕事でも何でも楽しく出来ればいい”と“とりあえず努力する”です。

この2つを心に、これからも家族会活動に協力して行こうと思っております。

今後どうぞよろしくお願ひいたします。

(家族会 会長 阿部陽子)



## 2015年度のみんなの会活動について

2015年度は、ピープルファーストかいぎにたくさんの方が参加してくれました。

今年は、花の会のOBの方も参加してくれましたので、花の会のメンバーが参加できない時はOBの方が参加してくれるのでありがたいと思っています。

ピープルファーストは、ほかの作業所の方の話も聞くことができるので、さんこうになることがたくさんあって、いいけいけんになるとおもいますので、ピープルファーストかいぎに参加していないメンバーは、ぜひ参加をしてみてください。

2016年度もひきつづきピープルファーストかいぎに参加をして行きたいと思ひます。

きょうみのある人は、ぜひ参加をしてみてくださいか？

今年は久しぶりにしせつけんがくに、すいたのびくぶくワールドさんへ行かせてもらいました。

花の会にくらべたら、たてものは広くかんじたけど、ひとへや、ひとへやがせまいのかな～と私はかんじました。

とうじしゃの人は、たのしんで仕事をしてるので、そこは花の会も同じだと思ひました。

ぶくぶくワールドは、花の会と同じような仕事をしていたので、同じだと思ひました。

ぶくぶくさんのクッキーは、おやさいのクッキーがたくさんあって、けんこうにはいいと思ひました。クッキーのへやが広くてたくさんクッキーがあった

ので、やくのもたいへんだと思ひました。

ぶくぶくさんのクッキーを食べさせてもらったけど、自分の作業所のクッキーが一番だと私は思ひました。

しせつけんがくも、ひきつづき行きたいと思ひます。

こうぎかつどうにも参加をして、むずかしい話もみんなあきずに聞いていたので、参加をした人にはいいけいけんをしたと思ひます。

いぜんからリーダーかいぎのうちあわせをしているけど、いぜんはワーカーが言ったことにたいして話をしていたけど、今は自分から話をするようになったので、それがうれしいです。

みんなの会で、こんなことをしたい、こんなところへ行ってみたらどうですかと言ういいけんがあれば、みなさんどんどん話してみてください。

よろしくおねがひします。

(みんなの会 代表 篠原芽久美)



## 活動報告

	花の会		法人		日中活動		地域生活		就労・相談			
1	5(火)	親族後見をすすめる会・役員会	8(金)	事務局会議	4(月)	仕事始め	10(日)	多賀神社初詣:友花会	15-16	合宿		
	12(火)	将来構想検討委員会			5(火)	メンバー給与日	16(土)	友花会新年会:魚民	18(月)	高槻かえるの会	18(月)	高槻かえるの会
	21(木)	GH運営懇話会					20(水)	ショート研修	20(水)	ショート研修	19(火)	就労啓発イベント
2	8(月)	日中活動運営懇話会	5(金)	事務局会議	1(月)	ラベンダー開所	2(火)	GH正職員研修	11(木)	あゆむ福祉フェア		
	16(火)	将来構想検討委員会	13(土)	オープン学習会	5(金)	メンバー給与日	6(土)	働く障がい者の集い	15(月)	高槻かえるの会		
	22(月)	親族後見をすすめる会・役員会		湯浅誠氏講演会	13(土)	職員研修	10(水)	ショート研修	18(木)	就労ネット会議		
				役員研修			15(月)	新ホーム開所	23(火)	協議会就労ワキガ		
							18(木)	EPOセミナー	29(月)	みしまブロッコリー関係機関連絡会		
							28(日)	阿倍野ハルカス&通				
							天間:友花会					
3	1(火)	花の会役員会	4(金)	事務局会議	5(土)	メンバー給与日	5(土)	友花会総括会・食卓会	3(木)	総括・方針会議		
	5(土)	親族後見をすすめる会・勉強会	6(日)	理事会・評議員会	26(土)	総括会議	15(火)	EPOセミナー	9(水)	ガイヘル研修終了		
	13(日)	第152回定例会	11(金)	理事会	31(木)	方針会議	17(木)	ホーム運営懇話会	11(金)	福祉卒業生のつどい		
	15(火)	将来構想検討委員会	16(水)	事務局会議			21(月)	ショート総括・方針会議	14(月)	高槻かえるの会		
	17(木)	GH運営懇話会					25(金)	ホーム内部研修	16(水)	スタッフ会議		
	28(月)	親族後見をすすめる会・役員会					26(土)	GH総括方針会議	28(月)	はいびすかす会議		
						27(日)	奈良公園:友花会					
						30(水)	第56回GH合同定例会					

## 活動予定

	花の会		法人		日中活動		地域生活		就労・相談	
4	15-16	第7回花の会作品展(アクトアモーレ)	1(金)	事務局会議	1(金)	新年度スタート	10(日)	平野神社花見:友花会	20(水)	スタッフ会議
	25(月)	日中活動運営懇話会			5(火)	メンバー給与日	13(水)	ショート研修	28(木)	はいびすかす会議
5	10(火)	役員会	6(金)	事務局会議	2(月)	メンバー給与日	8(日)	友花会活動(予定)	18(水)	スタッフ会議
	22(日)	第46回花の会バザー	未定	監事監査	22(日)	花の会バザー	18(水)	ショート研修	19(木)	就労ネット会議
			29(日)	理事会・評議員会	23(月)	代休	中旬	ホーム運営懇話会	30(月)	はいびすかす会議
6								GH新人研修		
								ホーム内部研修		
								友花会活動(予定)		
	19(日)	花の会総会・交流会(現代劇場3Fレセプションルーム)	3(金)	事務局会議	3(金)	メンバー給与日	12(日)	友花会活動(予定)	16(木)	就労ネット
		19(日)	花の会総会	19(日)	花の会総会	16(木)	レスパイト研修	19(日)	花の会総会	
			役員研修	25(土)	職員全体会議	24(金)	ホーム内部研修	28(火)	はいびすかす会議	
						26(日)	友花会活動(予定)			

### 編集後記

早いもので今年度ももうすぐ終わりとなります。毎年年度代わりはバタバタとして落ち着かない日々が続きますが、次年度の介護給付費については大幅な変更もなく少々ホッとしています。そして、もう暫くすれば新しいメンバーが花の会に通所されてきます。果たして今年はどんな個性を持ったメンバーが、どんな風に過ごし、どんな風に成長されるのか・・・そんな事を考えると今からワクワクしています。